

9月ほけんだより

平成27年8月28日
富士わかば保育園

今年は暑い日は暑すぎ、涼しくなるときは8月とは思えないくらいぐっと気温が下がるなど、夏バテに上乘せするかのように厳しい日々が続いていますね。今週、主に1階のお友達で「発熱（のどの風邪）」と「嘔吐」が増えています。注意しましょう（2階のお友達もじわじわ…始まりそうです）。



防災の日

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。
また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう（保育園での訓練の様子を、ぜひお子さまから聞いてみてくださいね♪）。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、電池、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- 踏み台になる物はベランダに置かない
- コンセントなどをいたすできないようにする
- 遊び食べに注意する（食べ物や喉に詰まることがある）
- 浴室の水は大きくなるまでは、ためたままにしない



8月の子どもたちの体調

報告のあった流行性疾患は
• 溶連菌感染症
• 流行性角結膜炎
でした。どちらも保育園の他のお友達にうつすことなく経過しています。
また流行性角結膜炎は、もうしばらく注意をお願いします。潜伏期間の可能性がまだあります。（特に1階のお友達）。

今週、発熱（のどの風邪）などのお休みや早退が主に1階で増え始めています。これは寒暖差などで当分続くかな…と思っています。嘔吐もご家族含め、複数報告がありました。



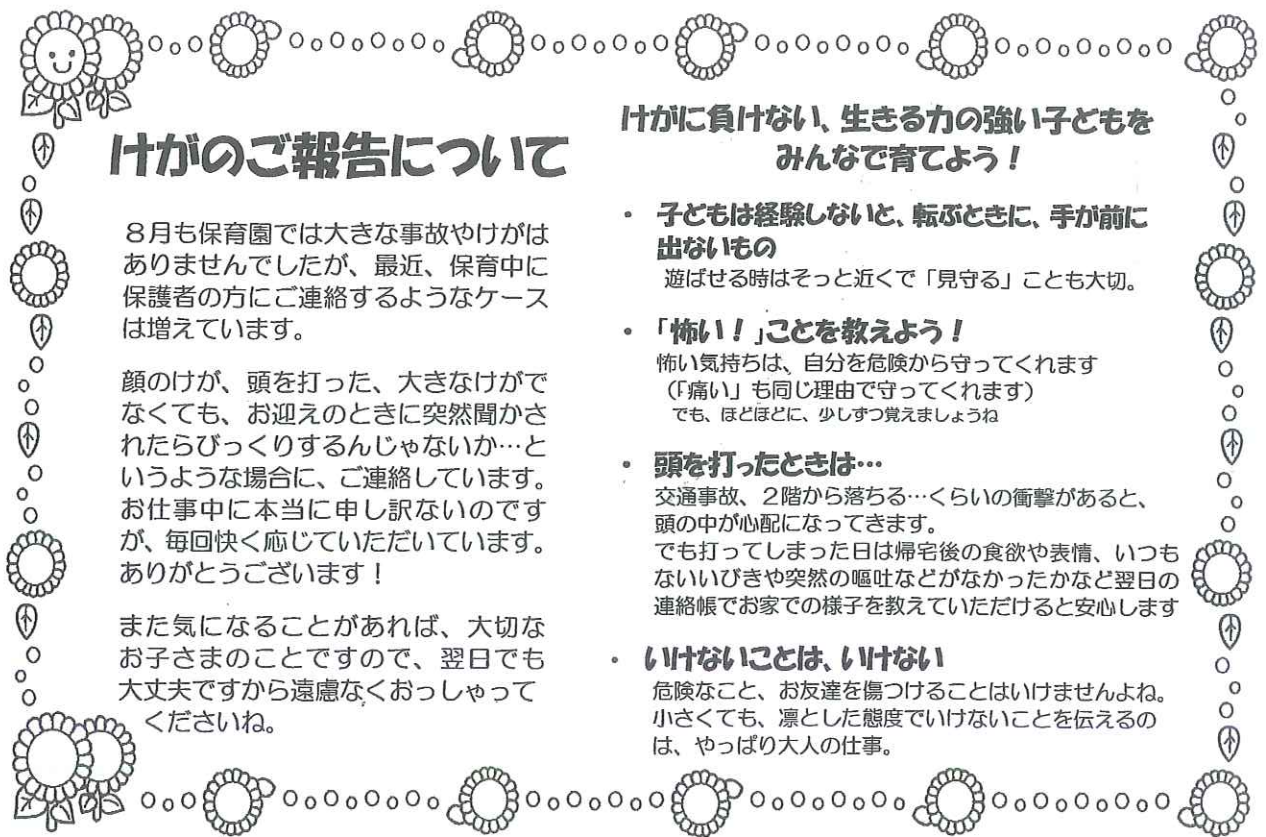
はやい目について

「流行性角結膜炎（はやい目）」は、おともも同じようにうつります。登園停止疾患になります。

- 目やにが多い
- 目をこすってばかりいてつらそう
- 目のまわりの肌まで荒れている
- 半日様子を見ても目に見えるように悪くなる
- 充血がいつもよりはっきりわかる
- 痛いと言う

という場合は注意しましょう。また、医師にも保育園で接触していることを必ず伝えましょう。

風邪の場合は、目やにがべったりしても意外に充血やかゆみがありません。ふき取りだけでも症状を緩和できることも多く、また、一緒に鼻かぜをひいていることが多いです



けがのご報告について

8月も保育園では大きな事故やけがはありませんでしたが、最近、保育中に保護者の方にご連絡するようなケースは増えています。

顔のけが、頭を打った、大きなけがでなくても、お迎えのときに突然聞かされたらびっくりするんじゃないか…というような場合に、ご連絡しています。お仕事中に本当に申し訳ないのですが、毎回快く応じていただいています。ありがとうございます！

また気になることがあれば、大切なお子さまのことですので、翌日も大丈夫ですから遠慮なくおっしゃってくださいね。

けがに負けない、生きる力の強い子どもをみんなで育てよう！

- **子どもは経験しないと、転ぶときに、手が前に出ないもの**
遊ばせる時はそっと近くで「見守る」ことも大切。
- **「怖い！」ことを教えよう！**
怖い気持ちは、自分を危険から守ってくれます（「痛い」も同じ理由で守ってくれます）でも、ほどほどに、少しずつ覚えましょうね
- **頭を打ったときは…**
交通事故、2階から落ちる…くらいの衝撃があると、頭の中が心配になってきます。でも打ってしまった日は帰宅後の食欲や表情、いつものいびきや突然の嘔吐などがなかったかなど翌日の連絡帳でお家での様子を教えていただくと安心します
- **いけないことは、いけない**
危険なこと、お友達を傷つけることはいけませんよね。小さくても、凛とした態度でいけないことを伝えるのは、やっぱり大人の仕事。

その他いろいろ…

- **とびひについて**
今年はずっと少ない年になりました。特に2階のお友達ではほとんど見られませんでした。これは本当に珍しいことでした。おそらくどのご家庭も、日頃よく見てきちんとケアされているからではないかと思えます。
- **水いぼについて**
プールが始まる前に数名、処置をお願いしましたが、肌の調子が割とよかったためか、2階では大きな広がりはありませんでした。これもとても珍しいことです。1階はまだ免疫がないため、2階に比べては見られましたが、それでも今年は大きな広がりにつながっていません。

● 虫刺されについて

特にりす・うさぎさんで、今年も蚊に刺されたあと（痕）を心配されているご家族がいます。小さいうちはどうしてもきれいな肌が赤く腫れ、見た目が大人るときよりひどく見えるので、「なんだろう？本当に蚊かな？」と思われるようです。しかしこれは年齢とともに、大人のような腫れ方になりますので、大丈夫です。
あまり気になる場合は皮膚科に相談し、薬を処方していただくといいと思います（小児科でも大丈夫です）。
また、保育園でムカデや蜂などの毒虫に刺された場合は、処置後保護者へご連絡し、ひどい場合は受診になることが多いのではないかと思います。

● ご家族が流行性の疾患になった時も、教えてください。いつの間にか保育園で子どもたちにうつっていることがありました。情報があるだけでも流行を最小限に抑える努力ができますし、保育面での協力もできると思います。ご協力をお願いします

● 朝夕、玄関にあるほけん掲示板を見てくださいね。予防行動にぜひ、つながってください。

ウエス、非常にたくさんいただきました！（まだ受け付けています！）お知り合いから頂いたもの、職場で古くなったもの、いつも定期的に持ってきてくださる方…
多くのご家庭の協力で、保育園の清潔、貸し出し衣類の充実・遊びの支えにつながっています。ありがとうございます！